



# かぜくも

いわき支援学校

地域支援センター通信 No. 28

R5. 7. 14発行

## 『“植物”の姿から学んだこと』

いわき支援学校長 菅野美恵子



現在のNHK朝連続ドラマ『らんまん』では、神木隆之介さんが、植物学者の牧野富太郎博士をモデルした「万太郎」を演じています。実は、私は高校時代の部活動は、生物部植物班（今は廃部です。）でした。当時は土曜日授業がありましたので、その午後になると、万太郎のように植物を愛する部活顧問の後について、信夫山の山頂辺りまでの坂道を這いつくばうようにして、植物の観察をしながら名前を確認したり、採集をしたりしていましたので、今回の朝ドラにはとても感慨深いものがあります。

そして、大好きな植物への思いを生涯貫いた牧野博士の姿に頭がさがります。

私自身は植物学や理科の道には進みませんでした・・・“植物の姿（生態）”を通して考えさせられ、学んだことや今の自分に役立っていることはたくさんあります。

例えば・・・、“植物は、どんなに暗く寒い冬が続いてもじっと耐えながら、芽吹きに適した時期を逃さずに芽を出してきます。種によっては、十分に成長できる環境が整わない限りは芽を出さず、種のまま何年でも耐えています。これは、植物が子孫を残し、生き延びるために備わっている能力ですが、生命力の強さを感じるとともに、すぐに目に見える成果を期待してしまいがちな私たち人間の性急さに、待つことの大切さを、植物は静かに示唆しているのではないかと思うこともあります。

私は、植物を育てることも好きなので、長い時間を掛けて、芽が出てきたとき、根が伸びたとき、花が咲いたときには、何とも言えないうれしさを感じます。子供との関わりにおいても、成長の芽を見つけたとき、大きく花開いたときなど、同じ思いです。

子供達がじっくりと力を蓄えながら、芽を出し、自分らしい花を咲かせられますように・・・その土壌をしっかりつくり、支援をするタイミングを見極める目を養いたい。日々の子供達の変化を見逃さず、子供達のもっている力を引き出せる教師でありたいと考えています。

地域支援センターでは、早期教育相談の場として、「かぜくもひろば」や「かぜくも教室」を開催しております。「かぜくもひろば」は、就学前のお子さんを対象に、小集団での遊びを通してかかわりの手掛かりを探していきます。「かぜくも教室」は、就学前のお子さんの保護者の方を対象に行っている勉強会です。また、就学前のお子さん、小・中・高等学校在学中の児童生徒さんやその保護者の方、担任の先生方などから個別にお話をお聞きして、お子さんの養育や成長、支援について一緒に考えていく「かぜくも相談室」もあります。

**お問い合わせ (☎34-3806)**

また、地域支援センター直通の電話080-7512-8323でも相談が可能です。ぜひ、ご活用ください。



かぜくもひろばの様子

## ～地域支援センター職員紹介～



左から

三瓶、鯨岡、木村、古川、永沼、後藤



上段左から

村上、吉田、上遠野

下段左から

岡部、中野、出川

## < ミニセミナーのご案内 ～幼・保・小・中・高等学校の先生方へ～ >

いわき支援学校コーディネーター 古川英樹

地域支援センターでは、特別支援教育研修会やミニセミナーなど、地域の学校の先生方や関係機関の職員の皆様に向けて研修会を行っています。

特別支援教育（知的・情緒）における自立活動の指導についての疑問はよく耳にします。自立活動の基本から知ると、その謎が解決して、難しさも軽減しよりよい指導ができるようになります。今年度は自立活動については7月の研修会と12月のミニセミナーでじっくりと情報発信をしていきたいと思ひます。

また、9月のミニセミナーでは、グレーゾーンと言われる児童生徒がその後どのような進路をたどって大人になったのか。支援学校以外の進路に進んだ子たちの現状を知るとともに、自己実現に迫るために在学中に必要な指導支援について改めて考えてみたいと思ひます。11月は、日々の学校生活で指導が難しい児童生徒のケースについても実際の指導から見えてきたことをお知らせしていきたく思ひますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

9月 6日(水) 「境界線やグレーゾーンと言われる子の進路と支援」

11月 8日(水) 「暴言や他害等、行動に特徴を抱える生徒の理解と指導」

1月17日(水) 「特別支援教育(知的・情緒)における自立活動指導例紹介」